

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Peace Through Service
奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次



2012-2013年度 会長 坪井和義 幹事 中村有孝 クラブ会報委員長 坂倉弘康
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2013 January 9

■ 2012~2013年度方針
「楽しいロータリーライフ

深めよう友情 広めようロータリーの輪

NO.24

例会報告

- 第1974回例会 平成25年1月9日(水) 晴
- 1月はロータリー理解推進月間
- 黙祷 樋口富三会員(平成24年12月31日ご逝去)
- 君が代
- ローターソング 奉仕の理想

- 出席報告 会員 104 名中 出席70名
(98)
出席率71.43% 修正出席率90.10%
(12月19日分)

ニコボックス

「明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。」 坪井和義会長
「今年もよろしくお祈り致します。良い一年になりますよう一緒に頑張りましょう。」

長谷川通雄君、小南速雄君、上村晋也君
服部 滋君、上野山 進君、山本秀樹君
中野義識君、間地 寛君、松原忠久君
宮下幸二郎君、石原敏夫君、國分孝雄君
福田哲三君、山本文彦君、田尻幹夫君
高木一平君、田中正次君、加藤重和君
林 邦司君、榎野智之君、増田靖憲君
天野清美君、亀井敏勝君、町田重夫君
安井信之君、加藤一郎君、小林利之君
中条忠直君、浅野 洋君、佐藤公俊君
山田和弘君、近藤東臣君、蜂須賀太郎君
一柳 宰君、丸山弘昭君、関 貴之君
山村博伸君、石川雅迪君、石川一郎君
吉田正道君、富島照男君、夏目 稔君
片桐寛治君、南 喜幸君、桑山卓也君
久保哲政君、久保和彦君、夏目英司君
柏木順志君、稲川 久君、天野俣明君
内藤博文君、棚橋秀行君、内間三好君
横井辰幸君、亀谷喜敬君、武田 猛君
佐橋嘉彦君、中村有孝君、住野 新君

「昨日は、加治佐様はじめ沢山の方達に誕生会をしていただき本当にありがとございました。」

須賀邦一郎君
「おめでとうございます。昨年12月25日クリスマスのゴルフ通の会で古希を祝って頂きありがとうございました。古希同級生岩田さん、稲川さんここまできたら100歳まで生きましょう。」 本多國泰君

迎春

落ち葉踏む かすかな音色 心地よく

春冷を 受けて鮮やか 紅椿

平成二十五年 元旦

追 松尾、小林両君の作より出来がいいと思いましたが」 鷲塚貞長君

本日のニコボックス 5件 142,000円
累 計 144件 1,739,000円

中村幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・ 1月23日(水) 新春夜間例会、ウェスティンナゴヤキャッスル、18時～。

* お昼の例会はございません。

・ 1月30日(水) 例会終了後、理事会を行います。

坪井和義会長挨拶

皆さん、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお祈りを致します。去年の年末に自公政権が出来て、デフレから脱却する思惑から株価も上昇し、今年はさっといいい年になるのではないかと期待しています。

さて任期も早いもので、あと半年になりました。先輩の方からは、「もうちょっとだ!」などと言われていますが、なかなか慣れてきません。

今年は巳(み)年(へび年)。執念深いと言われるへびですが、恩も忘れず、助けてくれた人には恩返しをしようと思っています。

この干支(えと)はいつごろから出来たか?ご存知でしょうか?その歴史は古く、「殷」の時代に作られたと言われています。作者は王充(おういつ)と言う人だそうです。

その時代、十二支は「年」を数える数詩だったようです。また「日」を数える為の数詩は十干(じっかん)があり、その二つを組み合わせたものを干支(えと)と呼んでいたようですが、日本では干支(えと)は、十二支と同じように使われています。時には時間にも使われていたようです。(子の刻)

日本では4世紀頃までは中国の年号を使い、5世紀頃、天体観測に基づく中国の「太陰太陽曆」が使われ始めたとの記述があります。

日本書紀に照らすと欽明天皇の553年、「倭(わ)」と呼ばれた日本は、百済に「曆博士」の派遣を求め、その翌年に来日しているという記述があります。

只、その普及には相当な時間を要したと言われている。この十二支、日本以外でも多くの国で使われているとの事です。

只、ベトナムでは、牛の代わりに水牛があったり、ウサギの代わりに猫があったり、チベットやタイでは、イノシシの代わりに豚があったりするようです。

巳年の特徴は「探究心と情熱」との事ですが、実を結ぶとも言われています。

今年は情熱を前面に押し立てて、実を結ぶようなクラブ運営を心掛けていきたいと思っています。

宜しくご協力をお願いします。さて今年度、メンバーの梶浦さんと樋口富三さんが亡くなりました。

メンバーの皆さんには、どうかこの一年、お身体には十分に気を付けて、無理をしないように、ストレスをためないように、楽しいロータリーライフを過ごして下さい。

ご活躍を祈っています。

卓話

ロータリー理解推進月間に因んで

会員 夏目 稔ロータリー情報委員長
私は37年前の昭和51年9月に上村先生の紹介で入会しました。35才でした。年下には石田秀翠さんと云う華道の家元が一人いただけでした。例会場は覚王山の王山会館と云う教職員組合がやっているホテルでした。

その頃、私が何をやってたかと申しますと、ロータリーに入る少し前のS.41~S.48の7年間大林寺さんから栄二丁目530坪を借地して相応寺住職の真野さんと白川



ゴルフクラブと云う練習場を経営して居りました。その場所を我々が返還後、伊藤與朗さんと伊藤勝康さんが借りて創業したのが現在のリゾートトラストです。

ロータリーに入る頃は白川ゴルフと云うショップとニプリンと云うゴルフウェア企画販売する会社を始め、全国に多数特約店を作りました。企画力が続かず、その後、ゴルフウッドヘッドの材料である国産柿の木パーシモンの販売をやり、マルマン、ダイワ、PGA等に売っておりました。

S.53年、丸の内1丁目 ツノダ自動車がクローズしていたボーリング場ビル4000坪を一棟借りて、(株)レッツスポーツ設立。東海TV、上村さん、安井信之さん、田口さん、小杉さん、三晃社松波さん、窪田英夫さん出資を仰ぎ、資本金2億円で始めました。中にはゴルフ、テニス、体操、アスレチック、エアロビクス、サッカー、カプセルホテル、減圧トレーニング室、レストラン。オリンピック選手も数名育てました。ロンドンオリンピック、坂本君が――

さてロータリーは何も面白くないのですぐに止め様と思いつつ、ついつい続いてしまいました。今では死ぬまで在席しようと思つて居ります。何のポリシーも無く、只只在席していただけの私にロータリー理解推進月間の30分も卓話をやれと云うのは天野徹明プログラム委員長の私に恥をかかす為の陰謀であると思つて居ります。しかも「卓話のお願い」と云う一枚の依頼書が渡され欄外には「ご自分で工夫をこらして、面白くお願いします」と書いて有りました。それも新年早々の第一例会の日を指定して有るではないですか。勿論、私は今年度のロータリー情報委員長を仰せ付けていますので役目上外部からそれらしい人物を探しだしご依頼申し上げる労は取るべきと思いますが、天野さんはそれは駄目と言うのです。ロータリー情報委員会は去る9月25日に高級フランス料理店シェ神戸さんに於いて(シェ神戸さんといえば、須賀さんのご子息ロブション料理長年末の料理の鉄人として大活躍)新旧30名程の方々にお集まり頂き、古い会員さんのみならず新会員全員にもお話を頂き大変有意義な勉強会を持つ事が出来ました。因みにその日出されたおいしいワインは全て私の奢りであった事を言いそえておきます。当日すべての点で大変お世話に成りました。間地親睦委員長が私の所へ来て「用意したワインがなくなったけど追加注文していいですか」と聞きに来たので勿論どうぞと答えました。今年もう一度開催予定ですので新会員さんにはワインを釣られてご出席願います。ロータリーのお話はこれ以上無理ですので、まったく別のお話をさせて頂きたいと思つています。パリの王様 伊藤典子さん 卓話を2回

1820年頃、フランスの片田舎から自分の文才に自信がある若者がいくつかの自作の歌劇の台本を持って花のパリへ伺っていました。彼の名前はアレクサンドル・デュマといい後に大流行作家となり、三銃士、鉄仮面、巖窟王(モンテ・クリスト伯)等多数のオペラを書き大デュマと呼ばれた人です。

パリにのぼったデュマは有名な作家の家を訪ね自分の作品を読んでもらおうとしますが仲々相手にしてもらえません。足繁く多勢の作家を訪ねる内、ある一人の先生が会って読んでくれ、いわく不かなか才能が有ることは認めるが、今これを世に出しても一発屋で終わってしまうであろう。器の中にもっともっと沢山の知識と経験を入れる事により、その器が一杯になり遂にはあふれ出る時、君は次々と作品を作ることが出来る様になるであろう。デュマはそれを聞き勉強をし、色々な人生経験をつみかさねる。多くの作品が彼のペン先から絶えざる奔流となって流れ出、富と名声を得ました。一日3フランで一家が暮らせる時代、一年に80万フランの収入が有り、豪邸の玄関に有る聖水盤と呼ばれる噴水の中に稼いだ金貨を全部放り込んで必要なだけ持出し散財しまくつて居りました。

女性関係も奔放で沢山の子どもも各方面に作りました。一番最初の妻にできた子供が後に小デュマと呼ばれオペラ「椿姫」を初め多数の作品を作り才能を引継ぎました。

晩年になり、ヒット作が作れなくなったデュマは死期をパリの安宿で迎える事になり、母を捨てられた事で疎遠になっていた小デュマが駆け付けました。デュマは息子にハンガーに掛けてあるオーバーコートのポケットの中を見る様に言いました。ポケットの中にナポレオン金貨が一枚と小銭が少しばかり見つかったのでそれを父に見せると『いいかい、

それは50年前にお父さんがパリへやって来た時に持っていたのと同じ金額なんだよ。だから、50年間散々ぜいたくをしたが、一文も減らなかつた事になる。昔も今も同じだけの財産が有るんだ。その俺を浪費家などいって非難するやつは誰だ』とデュマは笑つて言いました。

1870年12月5日没

デュマの死を知つたレ・ミゼラブルの作者ヴィクトル・ユーゴーは『彼は夏の夕立のように爽快で人を喜ばせた男だった。彼の暗雲や雷鳴や稲妻はなんびとも傷つけなかつた。すべての人は彼が干割れた大地にそそぐ夏の雨のようにやさしくて寛大であることを知つていた』と語つたそうです。

・エピソード 決闘

彼は一生の内に13回決闘をやっています。晴瞬間的な憤怒にかられた結果ですが、その中の一つの話です。

デュマは武器としてピストルを選んだが、相手の高名な批評家ジャンンはそれに反対して「剣だ!剣にしておらおう。この決闘で挑戦を受けたのは僕なんだ。だから武器を選ぶ権利は僕にある。僕らは剣で勝敗を決したい。」

デュマははげしく言い返し「おい、血迷っちゃいけないぜ、僕が剣術の天才であることを知らないのか。僕は8つの構えを組み合わせた1万2210通りの剣法の全部に通じているんだ。さあ、ピストルにしよう。でなければ、君はみすみす命を落とすことになるよ」

ジュールジュナンは答えて「ふん、君はまだ僕の射撃の腕前を知らないね。僕はピストルで三十歩離れた所に有るロークの灯でも消せるんだ。僕にピストルを渡してみろ。君なんか立ち所にお陀仏だ。」

このいつれ劣らぬ堂々たる態度に互いに感動して抱き合つて泣いたと云うのです。

・椿姫

一台のしゃれた箱馬車が小デュマの歩いているそばで止まり、そこから目の醒める様に美しい若い女が身軽に飛び降りて近くの衣装店の中に姿を消したのでした。黒い髪と象牙の様に白い顔を金糸でシシュしたカシミアのショールでつつんだその美人の姿は若さと純潔の化身の様に彼の頭の中に刻みこまれた。まもなく彼女がパリでだれ知らぬ者のない娼婦のマリーデュプレシスであるとの素性を知る事になつても、彼は依然として彼女の純潔さを信じていました。

この清らかな天使が毎晩きまつてオペラ座の棧敷に姿を現し月の25日は白い椿の花束を、5日間は赤い椿を手を持って、彼女の職業を大胆に誇示していても想い続けていたのです。そして、歌劇「椿姫」が出来上がり大ヒットしたのでした。

三銃士のダルトニアンはデュマが筆を持ってパリでのし上がったのを剣に替えて書いた作品です。

●会員消息 樋口富三君(2011.1.12入会)

平成24年12月31日ご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。(享年62才)

お通夜 平成25年1月3日(木)

17:00~

告別式 平成25年1月4日(金)

11:00~

式場 師勝愛昇殿にてしめやかに執られました。



例会	月日	今後の予定
第1975回	1.16	公益財団法人 名古屋まちづくり公社 理事長 杉浦 雅樹氏 「名古屋まちづくり (都市開発整備からまちづくりへ)」
第1976回	1.23	新春夜間例会 18:00~ ウェスティンナゴヤキャッスル
第1977回	1.30	新入会員自己紹介 住野 新君、内間 三好君
第1978回	2.5	小澤 智生氏

○このウィクリーは再生紙を使用しております。